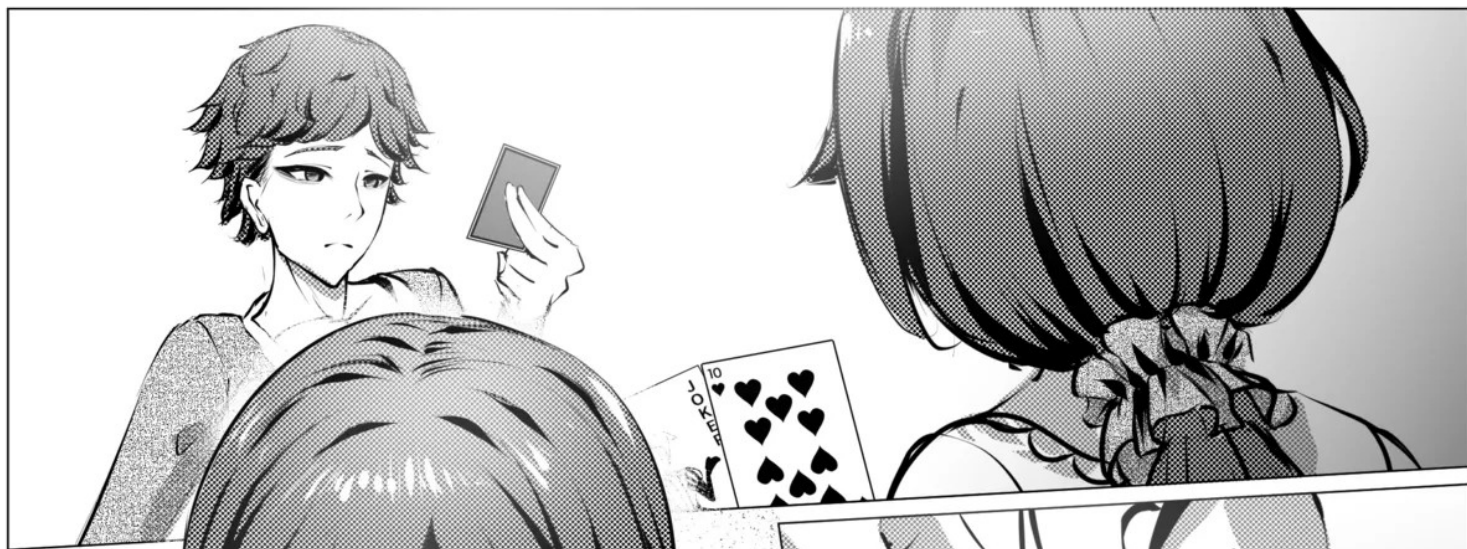




仕事に疲れて田舎に帰ったら、
幼馴染がめちゃくちゃ話してくれただ話。





あーあーあー

こち。

何で!?
二分一の運ゲーじゃん!!
何で毎回負けるの!?

ナンデカナー……。

は~~~~おもんな!
二度とやるかこんな糞ゲー!

手に汗握って
見えたんだがな。

うっさい!!





ババ抜きで
そこまで感情昂ぶるのは、
お得な性格だと思うぞ。



でもまあ……

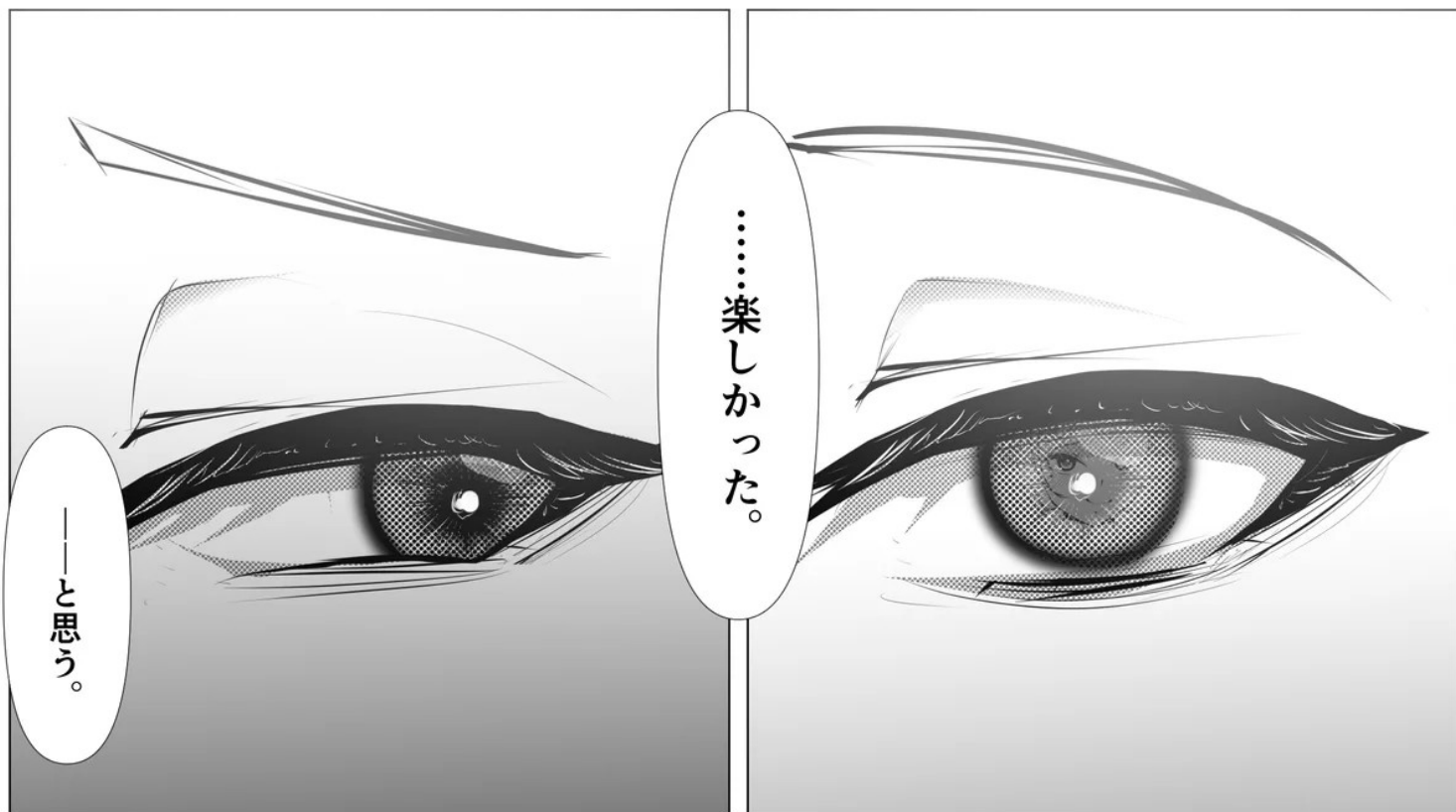


……



楽しかった?

大樹は——



謝らないで。





——私は、

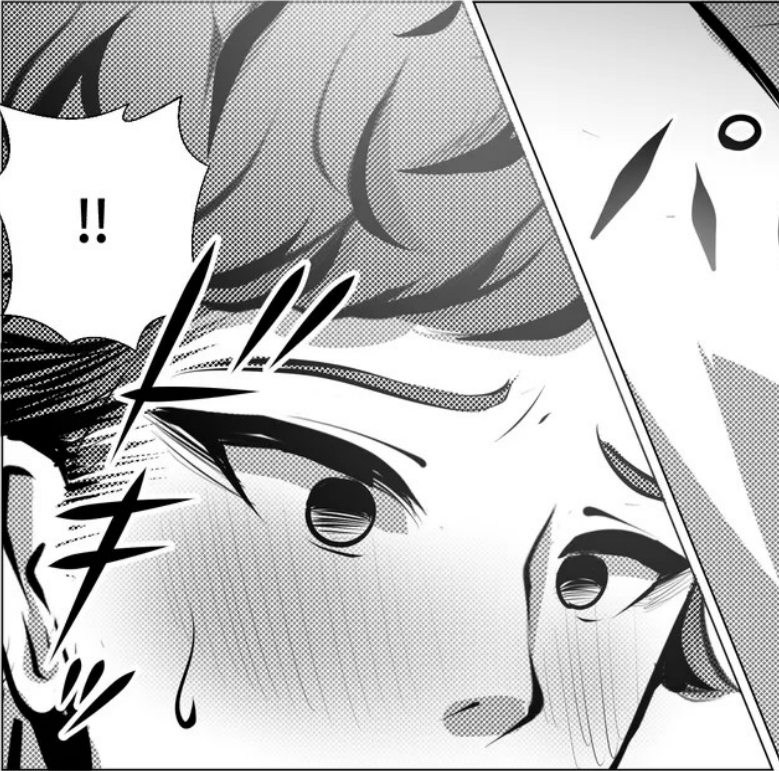


嬉しいから。









さっきしたばかりなのに
元気だなんて。



いや……これは急に
抱き寄せられたからで……！
しし



さっき言ったじゃん？

✕
まあまあ……



受け入れてくれたのも
嬉しいって♡



人間きの悪い。



こうやって
冤罪が生まれるのか……。



嫌じゃないでしょ？

それに――



これなら私が勝てる……！

トランプの件、
意外と根に持ってる――！



いやそれにしたって、
もう少しムードとか……。

今の大樹を待ってても、
絶対そういうムードに
ならないじゃん。

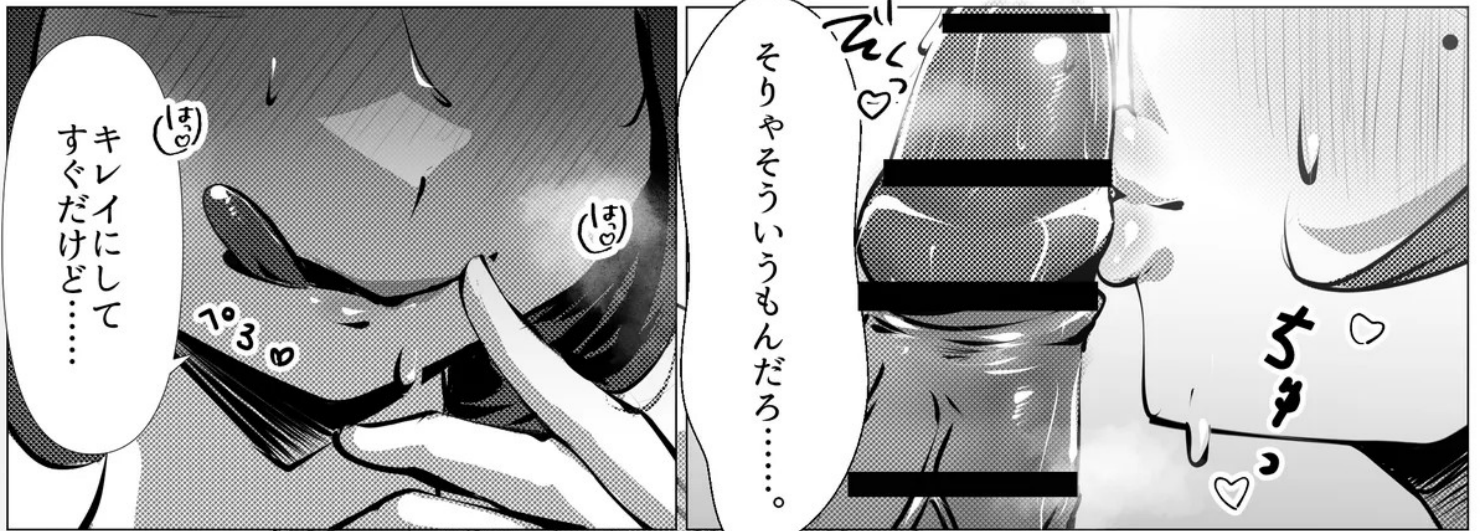
うっ……。



でも……
すぐそういう気分になれるよう、

頑張るからね♡

(はあ)



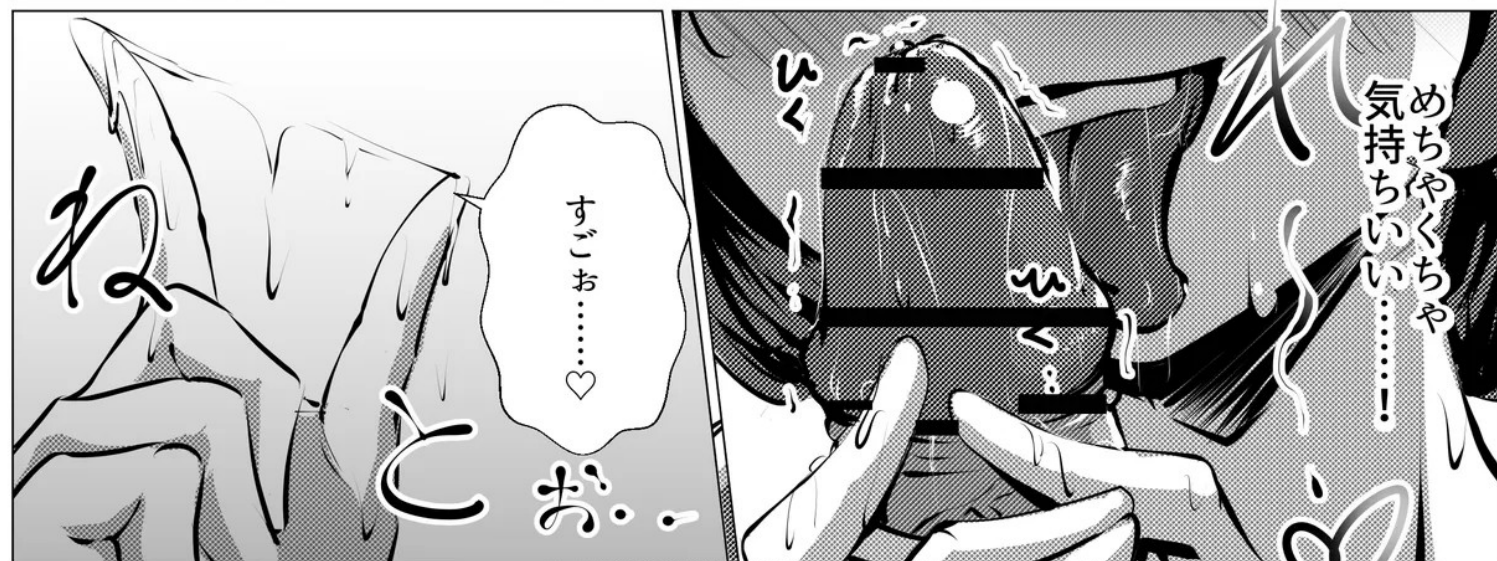


ぐっ……
ざらついた舌で裏筋刺激されて……

れろ♡
ちゅ♡

んろ♡
ちゅん♡

まだ舐めてるだけなのに……



めちやくちや
気持ちいい……!

いっ♡
くっ♡
くっ♡

すごお……♡
お..

ね



舐めるだけでこれなら——

ちろ♡

口いっぱい頬張ったら
どうなっちゃうんだろ♡



風呂の時も思ってたけど――



こいっ……



こんなに積極的だったか……？





う……おま……っ！

急に、激しく……されるとっ！



出……っ！







なあ。



……別に奉仕100%って
わけじゃないんだけどね。

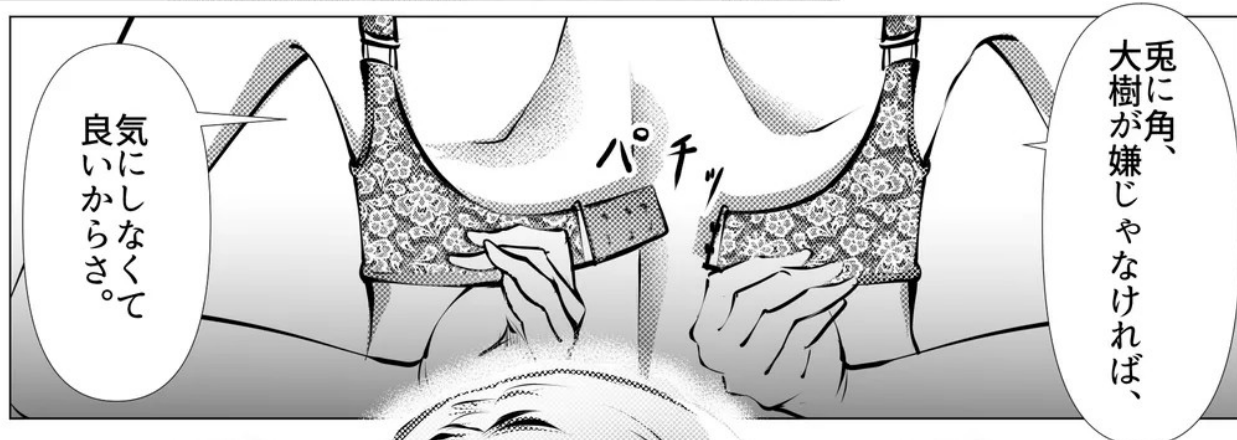
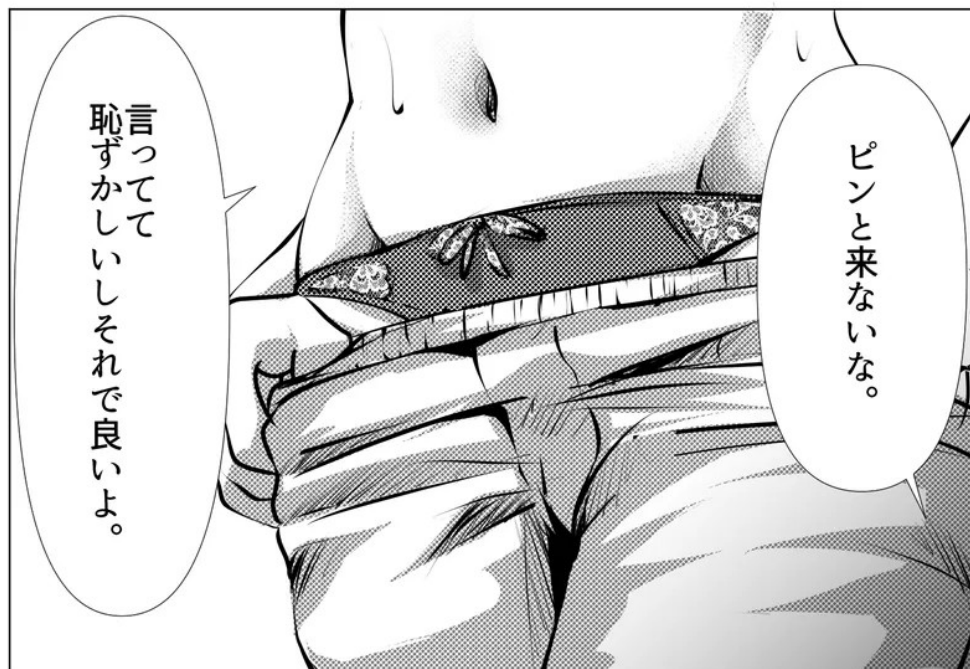


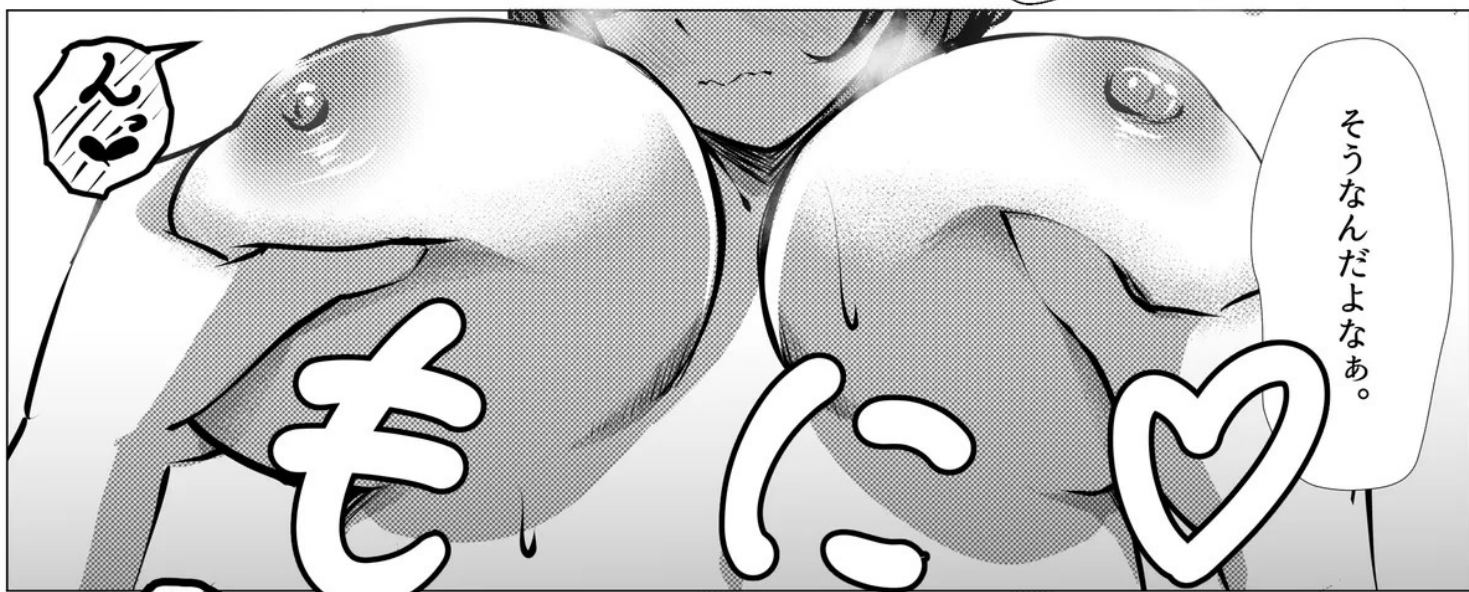
何で
そこまでしてくれるんだ？

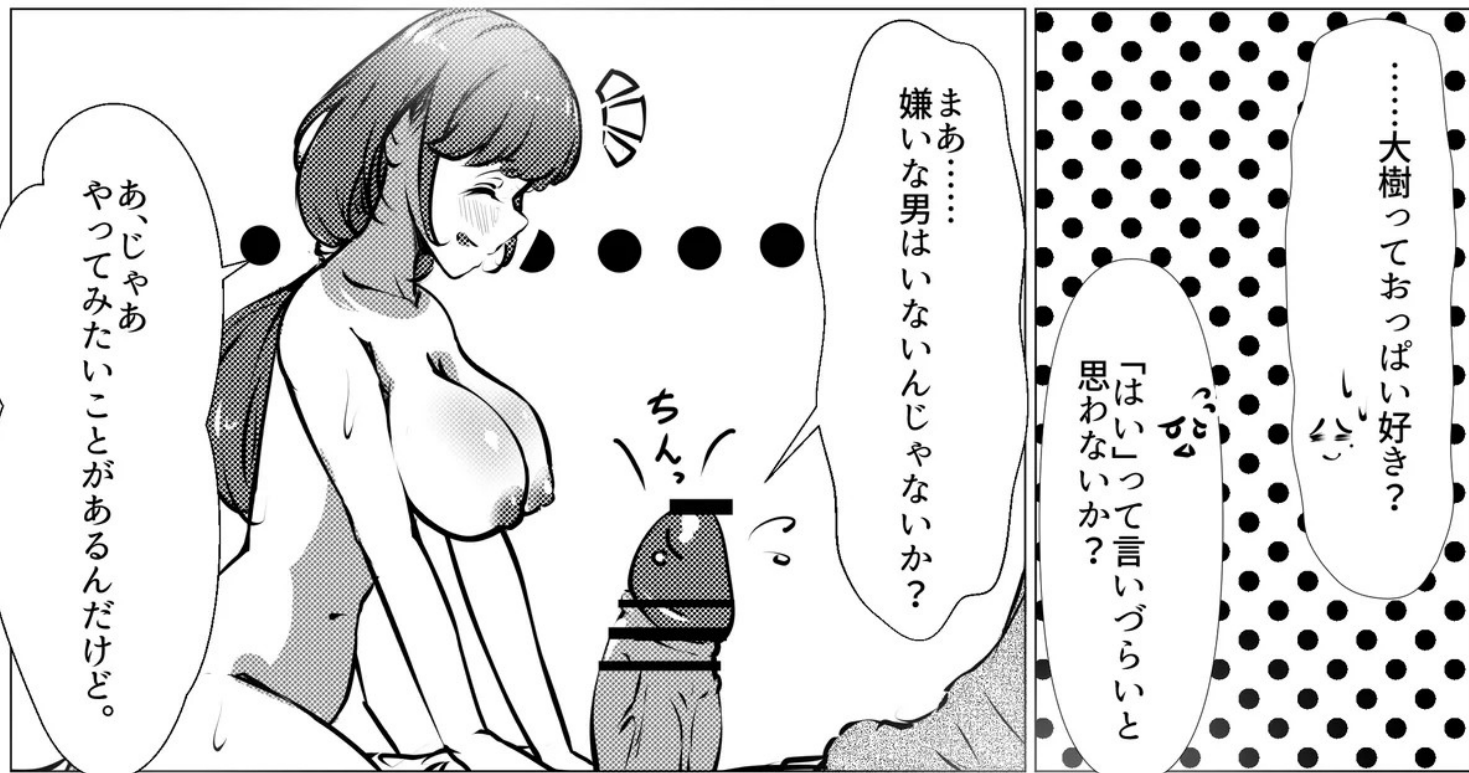


私は、私や大樹が思ってるより強かだった——

——そんな感じかな？









う……お……！
乳圧すご……。

ふおあえ、
ひゆうにあんえこんあ……っ
（お前、急に何でこんな……っ）

えへへ♡
我慢汁すご……♡

んっ……♡
しゃぶりながら
喋らないでよ……♡

嫌じゃないみたいで
良かったよ♡

待て待て!!

こういうの女側から
やりたいと思うものか!?

おやおや……。
もう私の言ったこと
忘れちゃったのかな?

おはっ

言ってたこと?

……私は心身の疲弊した大樹を
癒す為に一肌脱いでいるんだよ?

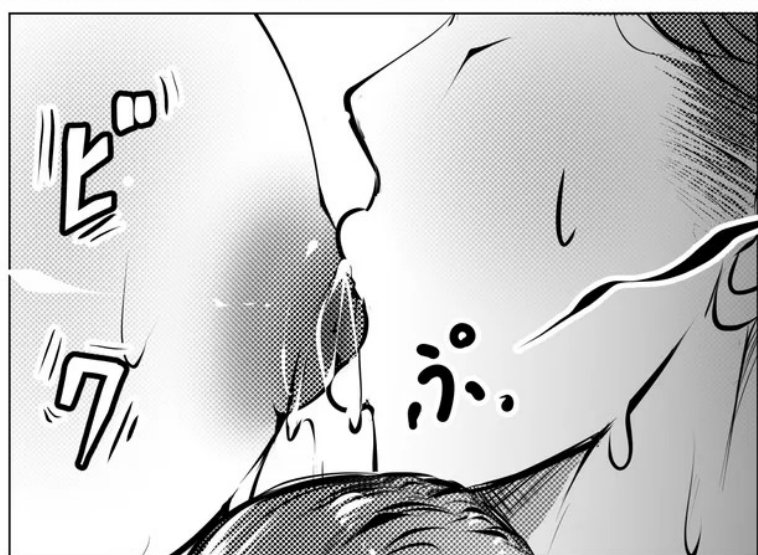
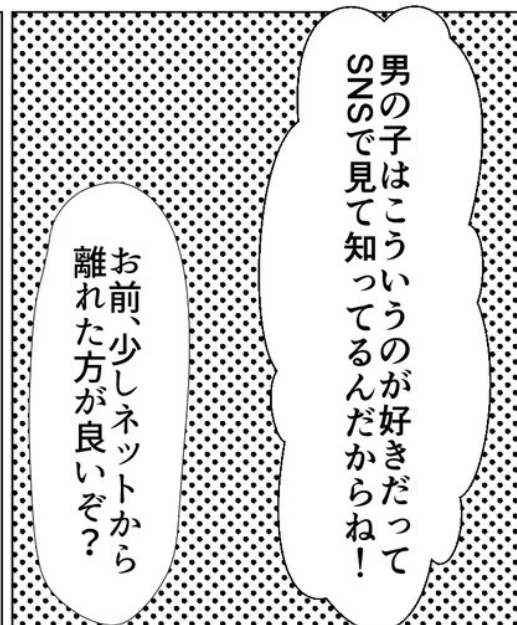
だから、

大樹にはこうして
赤ん坊みたいに甘えて貰わないと
いけないわけだよ!

そんな大樹を癒したいと、
物理的に一肌脱いでいるのが
この状況ってことだよ!

……………!
何か言ってたな……

むぎゅ♡

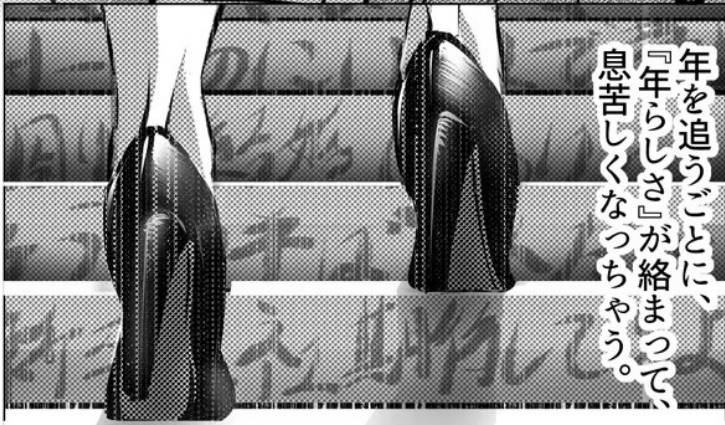


でも――

そういう時があっても
良いと思うんだよね。



年を追うごとに、
『年らしさ』が絡まって、
息苦しくなっちゃう。

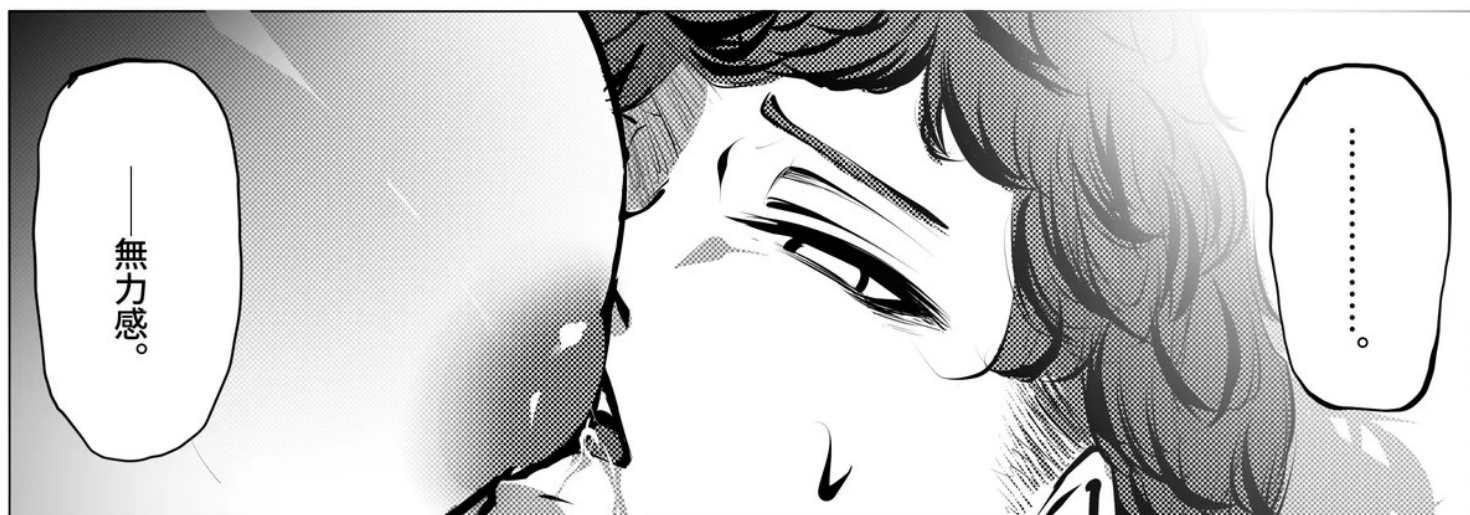
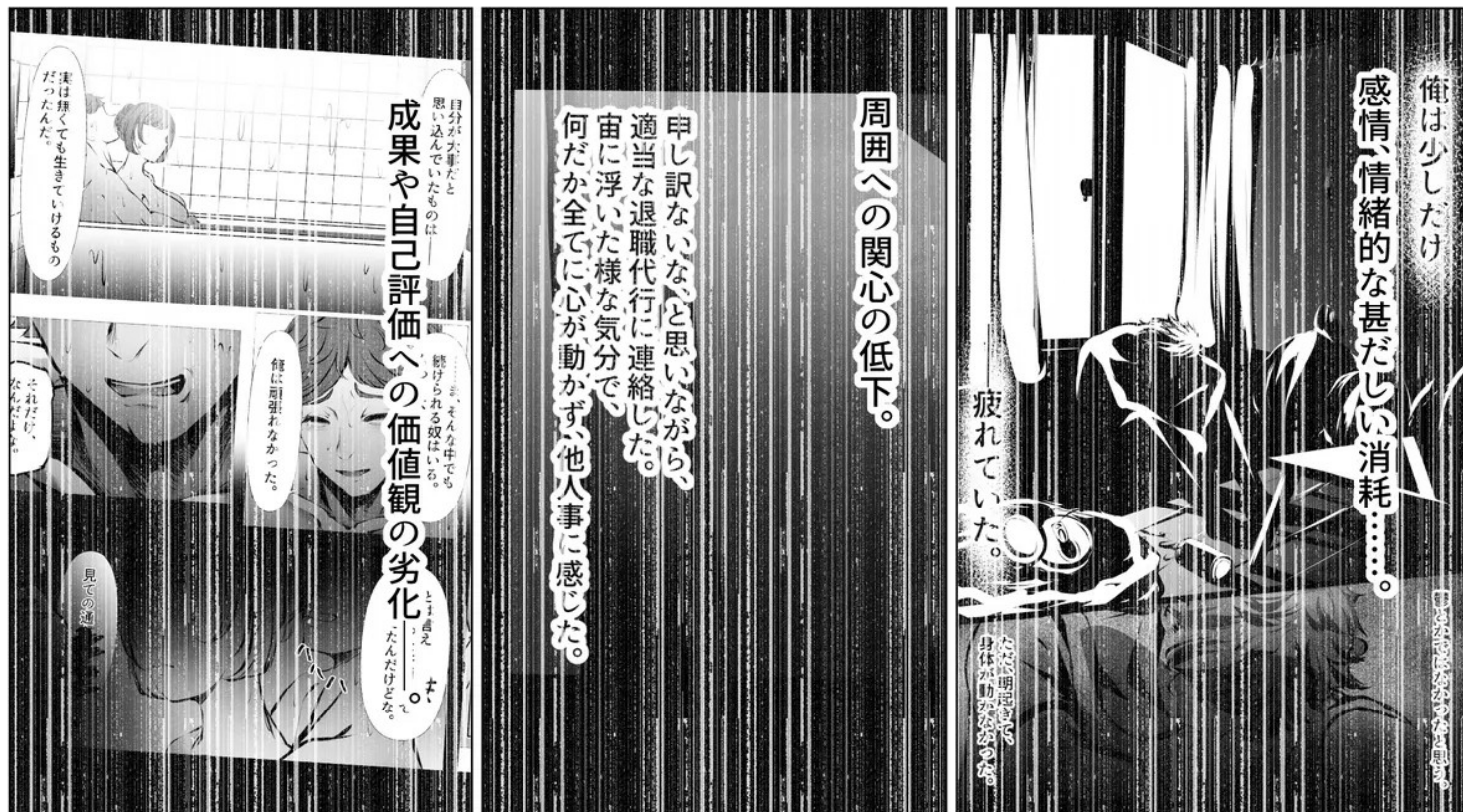


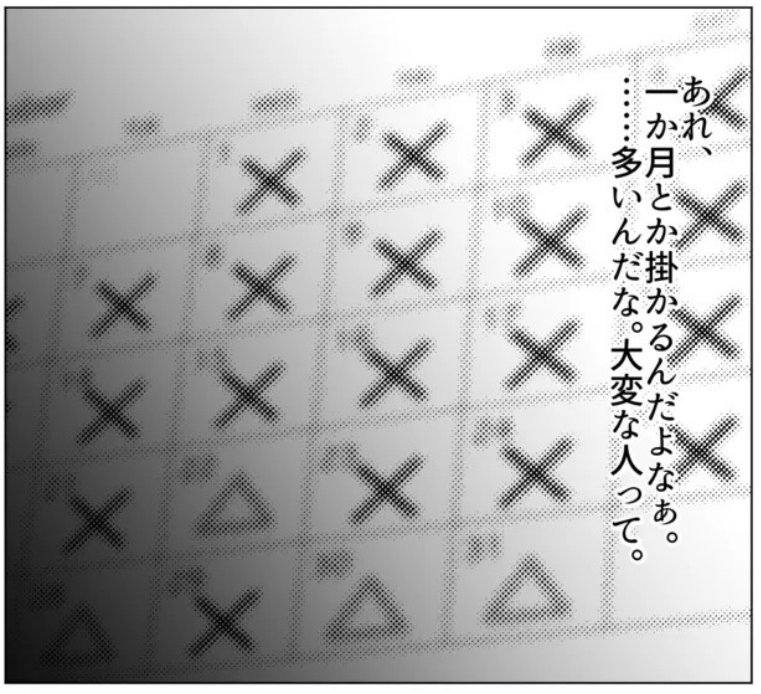
周りを気にせず
生きるなんて無理だもん。



あはっ♡
必死に吸ってて
かわいい……♡









こっち戻ってきて
それなりに回復したから
良かったけど……。

何か釈然としないというかな。



そんなもんだったのか
……ってな。



あんなに苦しかった筈なのに、
少し逃げたらケロっとしてる。

美味しくない井戸水じゃあ……。

たった十分の間に満員の電車を避けて。

深夜に目が覚める様になって、
ずうと寝不足で……。

自信絶望に陥ったか……。

家族にも相談出来な……。

家賃も物価も税金も全部高いのよ、
ストレスで酒も増えて……。

新しいスケッチ見たり

「何やってんだろ」って思うぜやう……。

73



今は――

私の方を見ていて欲しいな。

『嫌なことを忘れて』なんて都合の良いことは言えないけど……

嫌なものと向き合い続けることが、必ずしも、真摯な生き方とも思えないよ？



今は休んで、
気力や判断力を少しずつ
取り戻さないとい。

自罰的な思考で
物事をフラットに見るのは
難しいと思うな。

少しずつ冷静さを
取り戻さないといけない……。
わかるよね？

ああ……まあ。

言っていることはわかる。

ずっと今のままではいられない。

焦らず休息をとって、
落ち着いて物事を
切り分けられる様になるのが、
社会復帰までの一番の近道なんだろう。

でも……。

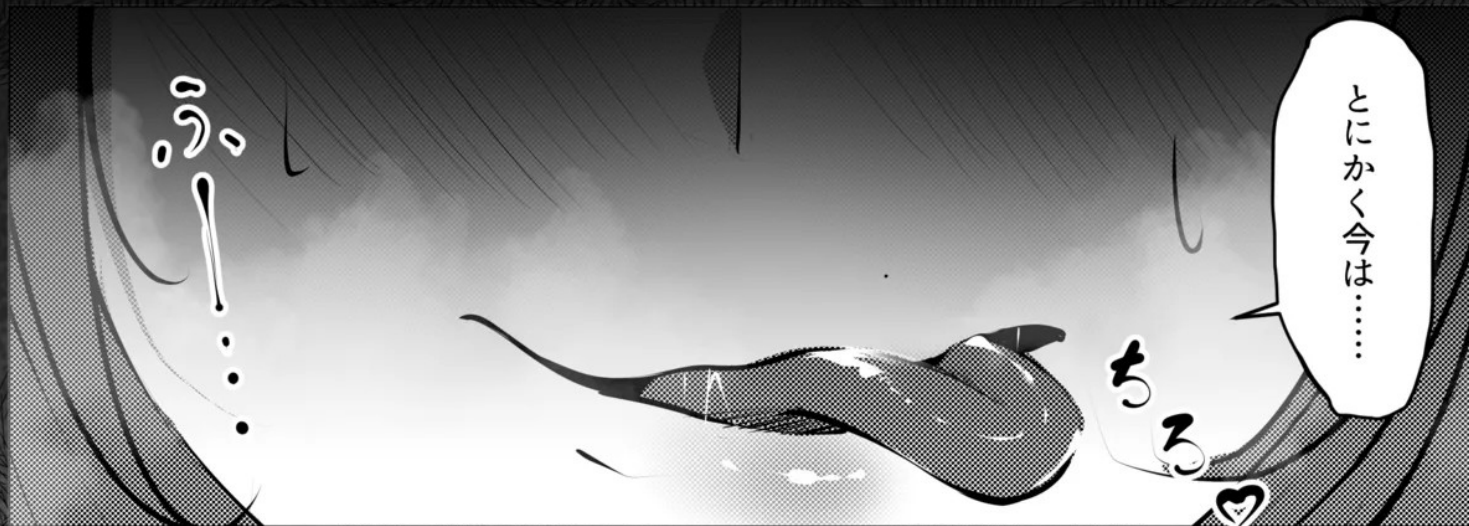
「だからセックスをしよう」とは
ならないんじゃないか？

何で急に
冷静になっちゃうのさ？

お前さっき
「冷静さを取り戻さない」と
って言わなかったか？

少しずつって言ったじゃん？





とにかく今は……

ちろ



私と一緒に気持ちよくなることを考えれば良いんだよ。

ふー

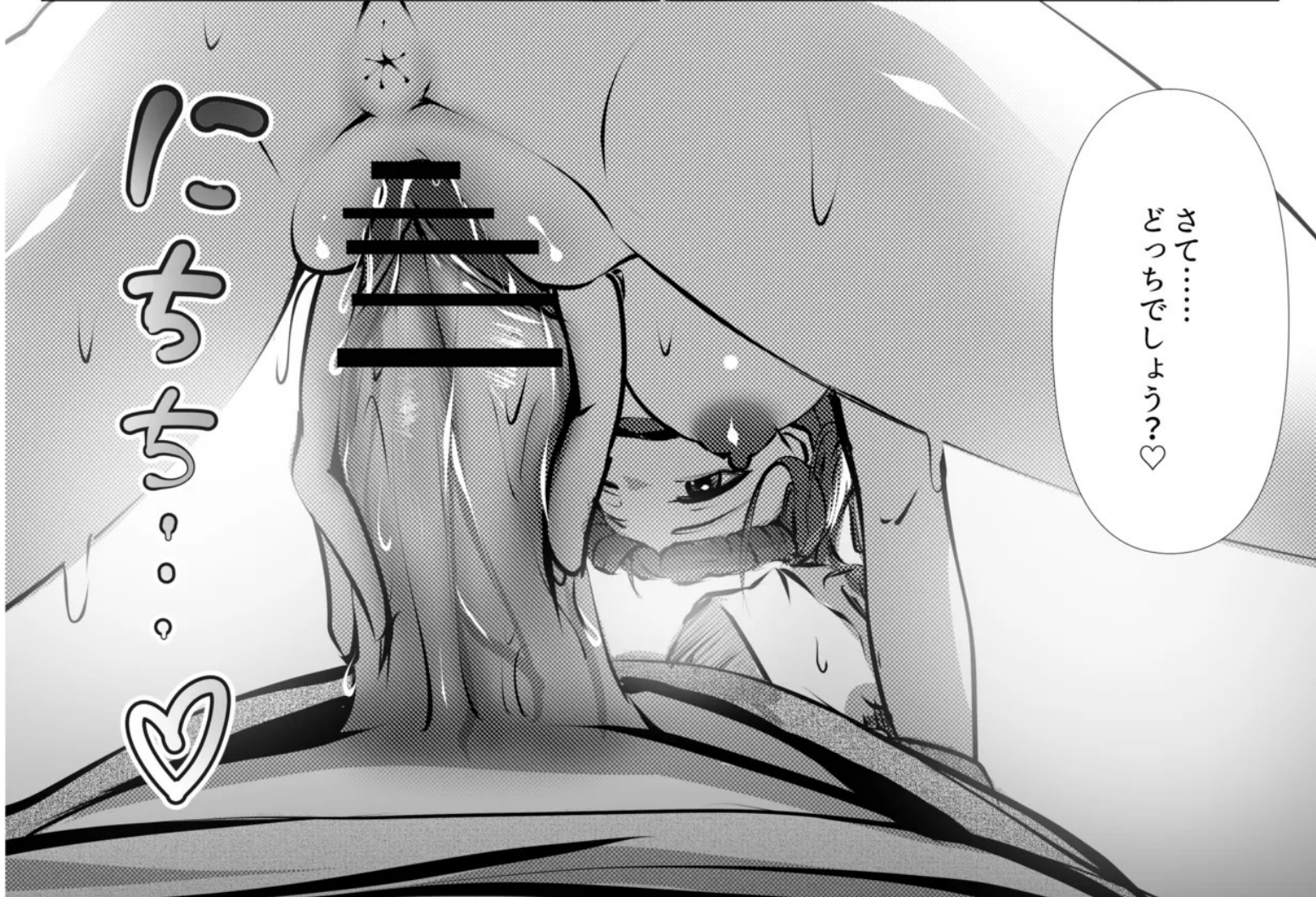
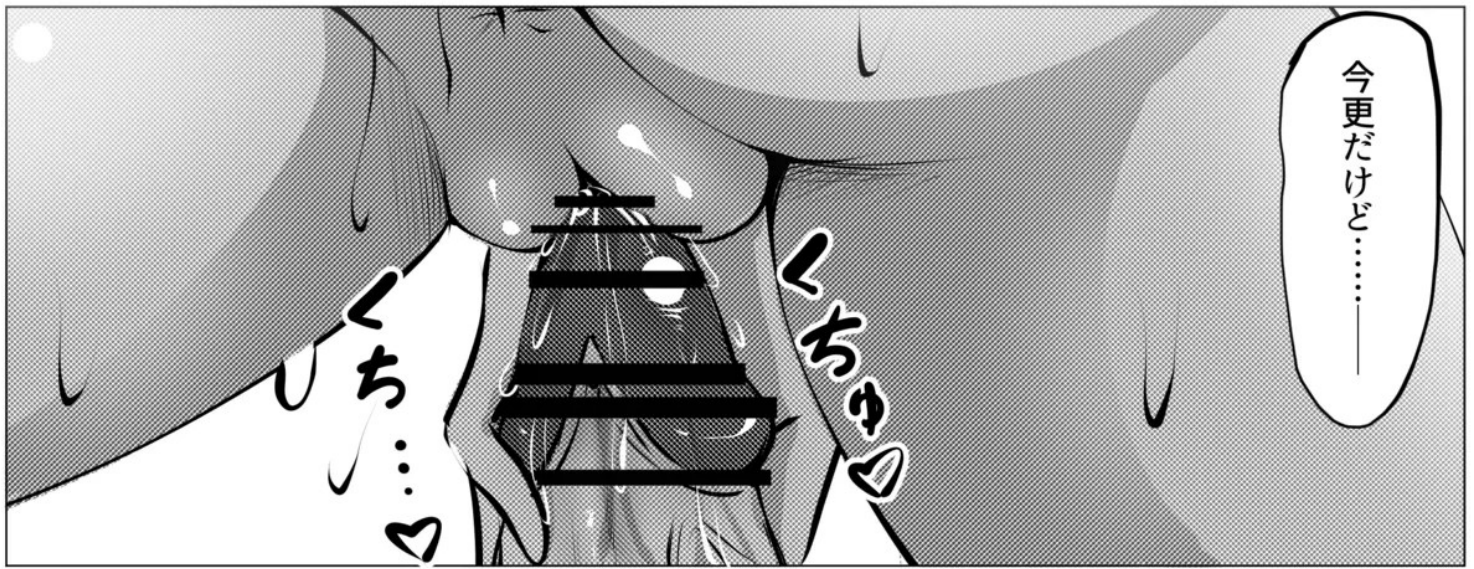
はー

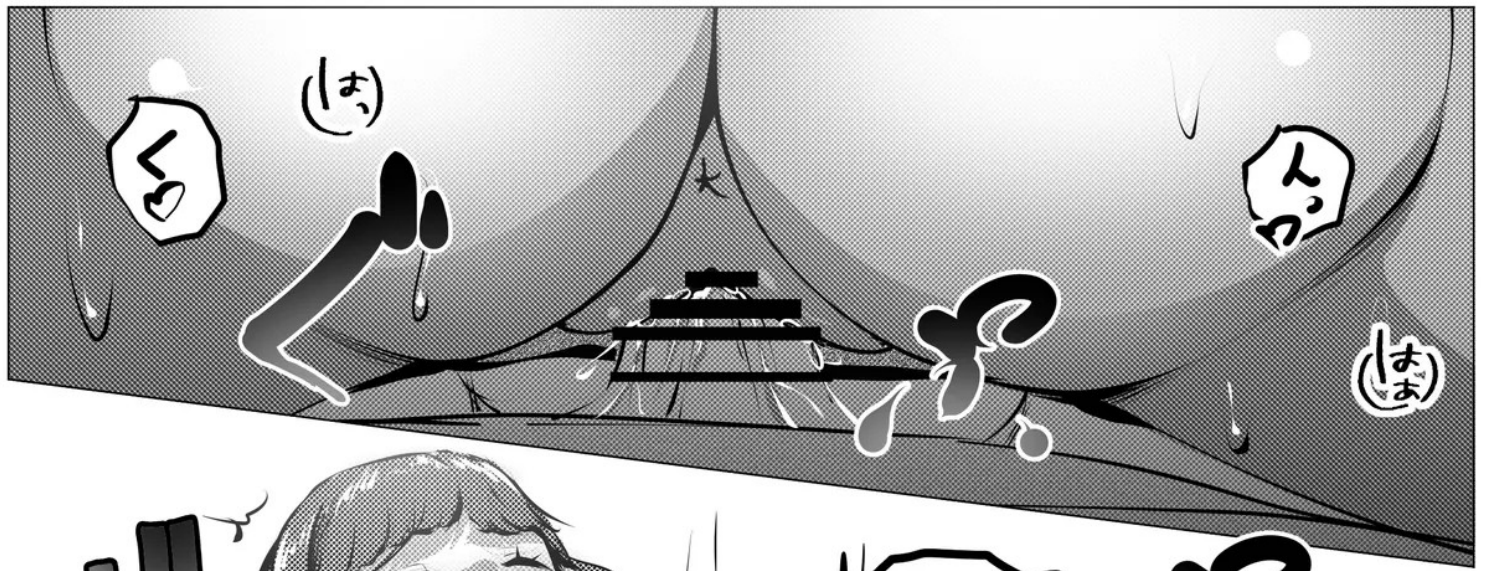
ふー

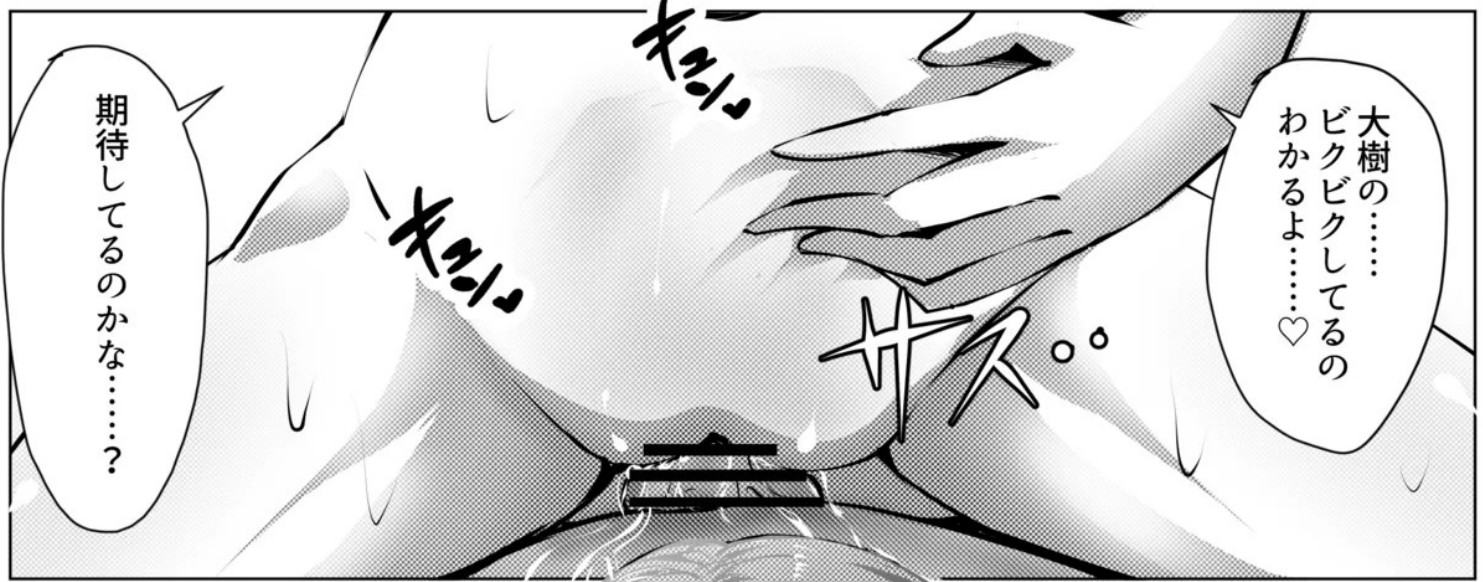
サキュバスみたいなこと言い始めた。

ちゅ

くち...







ね、見て♡

おちんちん
出入りするとこ良く見えて、

(はあ)

すっごい
えっちだよね……♡

(はあ)

(はあ)

(はあ)

ニャー

おふっ

あん♡

ニャー♡

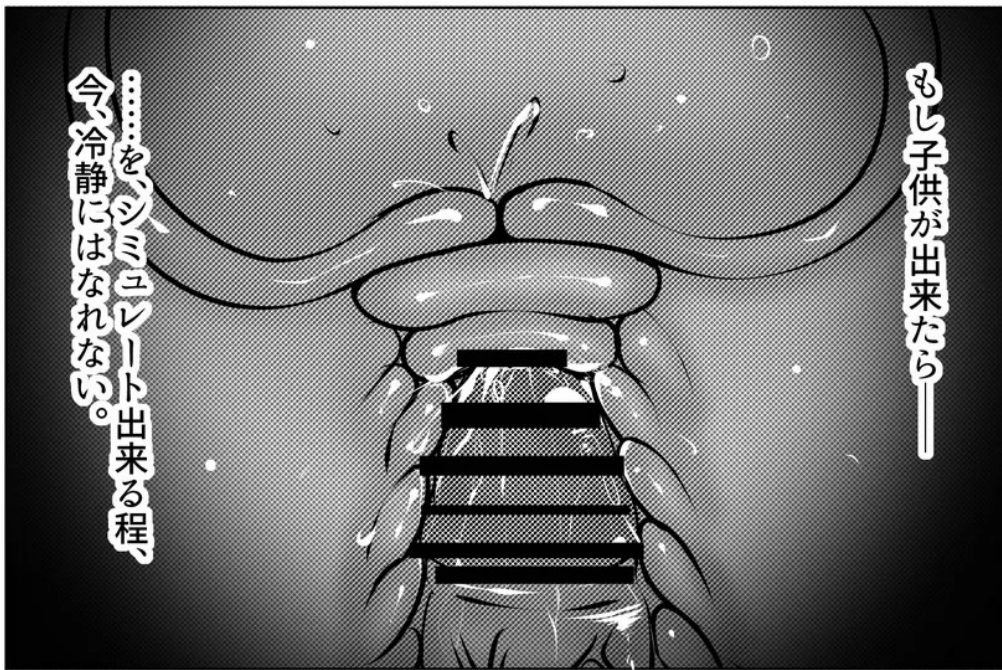
ちゅ♡

ス♡





して、いいけど……。



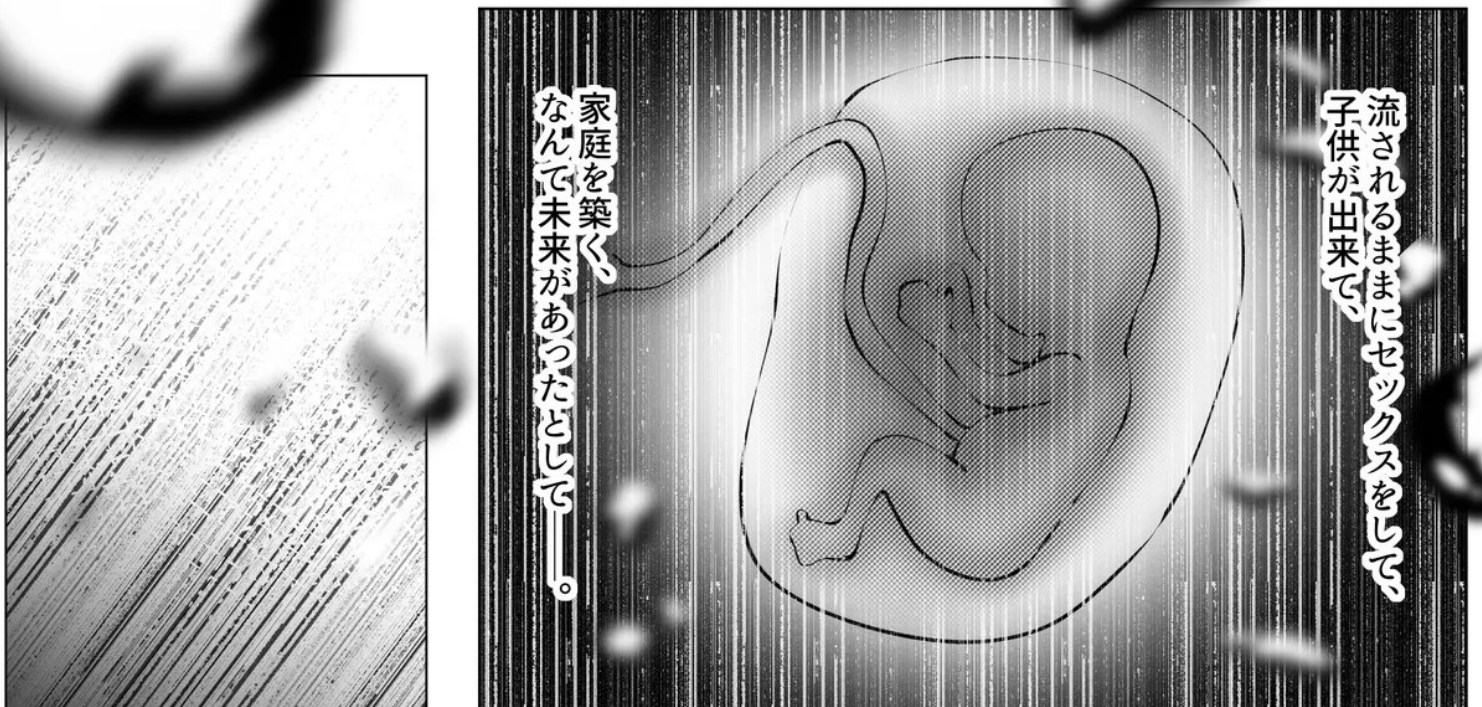
もし子供が出来たら――

……を、シミュレート出来る程、
今、冷静にはなれない。



だから――

好きだと言ってくれた人のことを
考えてみる。



流されるままにセックスをして
子供が出来て、

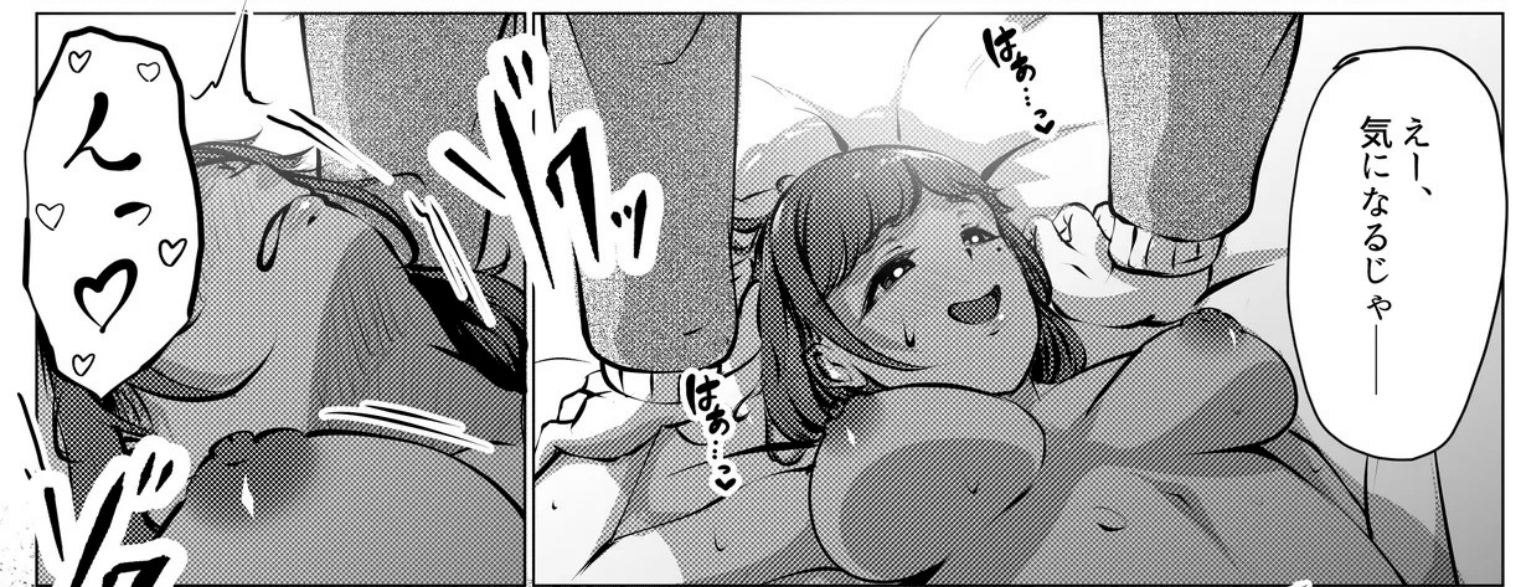
家庭を築く、
なんて未来があったとして――。

……。無理しなくてもいいのに。

マグロは
いかなよなと。

そっか。

それに……。



「人生は万全な時の方が少ないから」

という回答は、
些かの飛躍を感じて呑み込んだ。





本当に嫌なら
拒むことも出来た。

そうしなかったのなら、
それも一つの判断。



例えその判断が、
絶不調の今下したモノでも――。

結果は
成る様にして現れる。

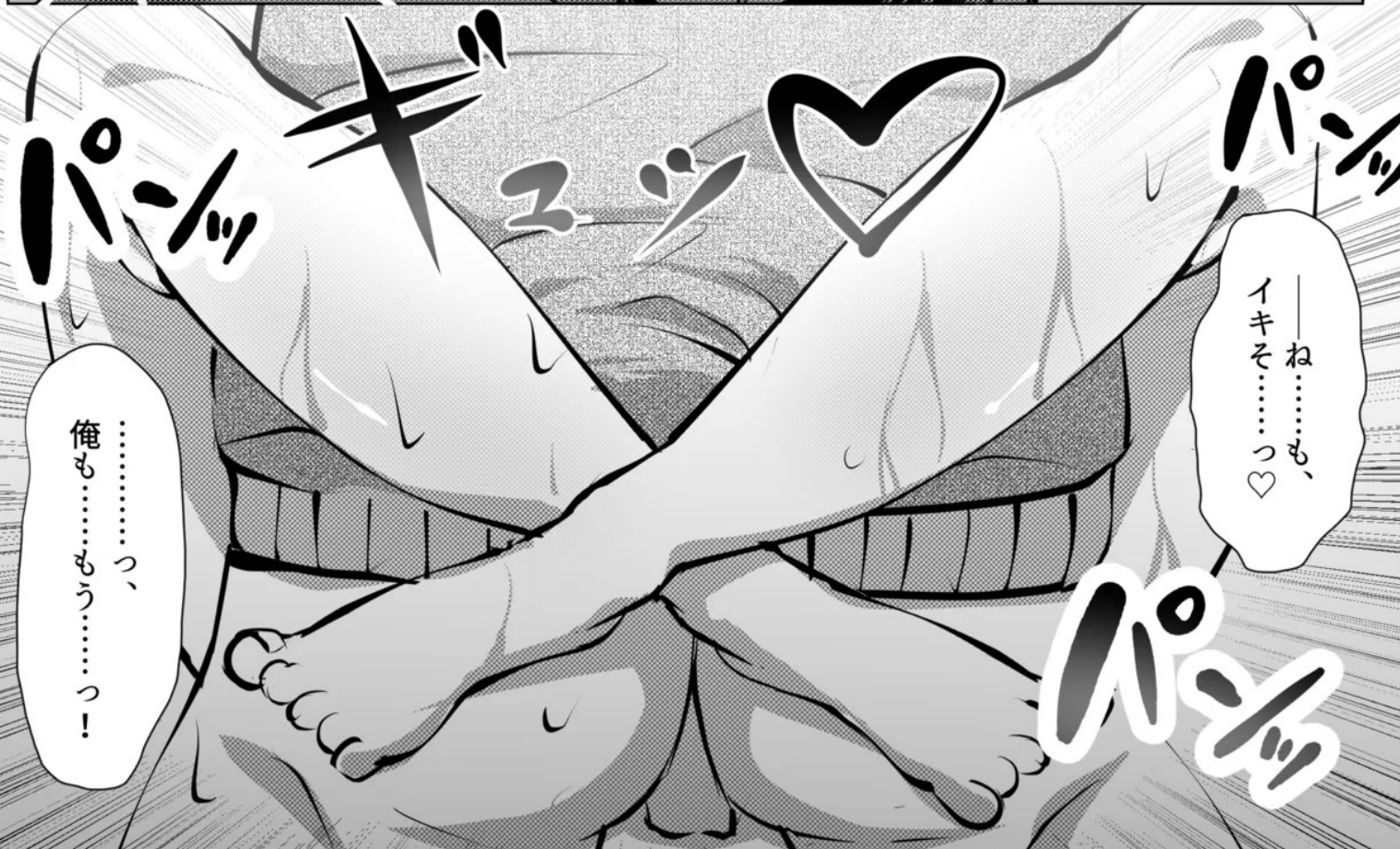
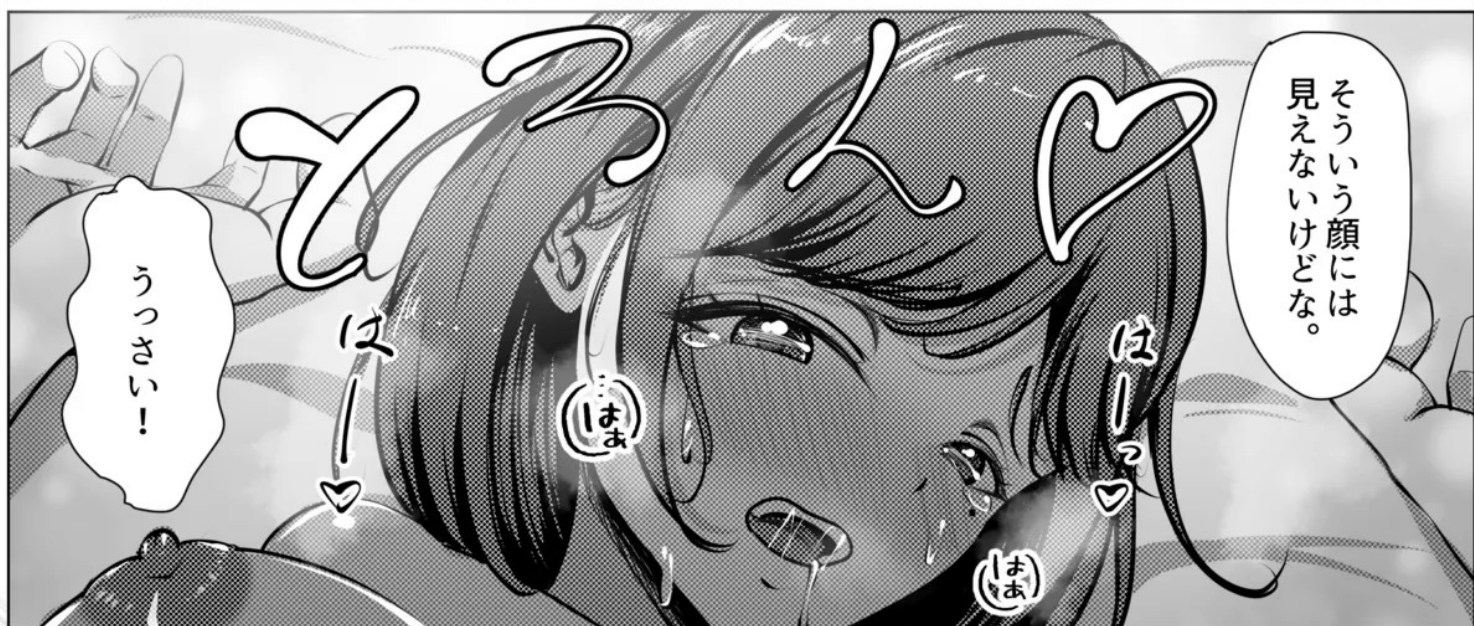


流されるままにセックスをして、
子供が出来て、家庭を築く、
なんて未来があったとして――。

その未来が幸せかどうか、
想像するのは難しいけど……
でも、そういう未来があったなら――

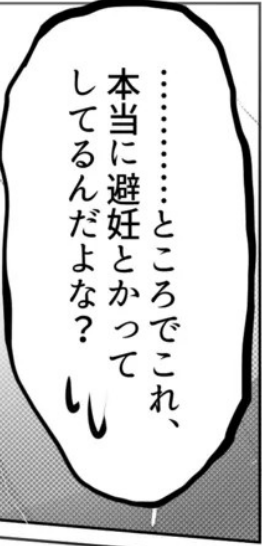
——それは『流された先』に
あつて欲しくないと思った。



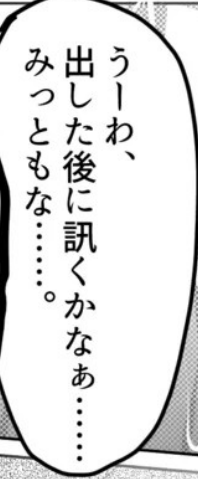








………とここでこれ、
本当に避妊とかって
してんだよね？



うーわ、
出した後に訊くかなあ……
みっともな……。



始めに訊いたよな？



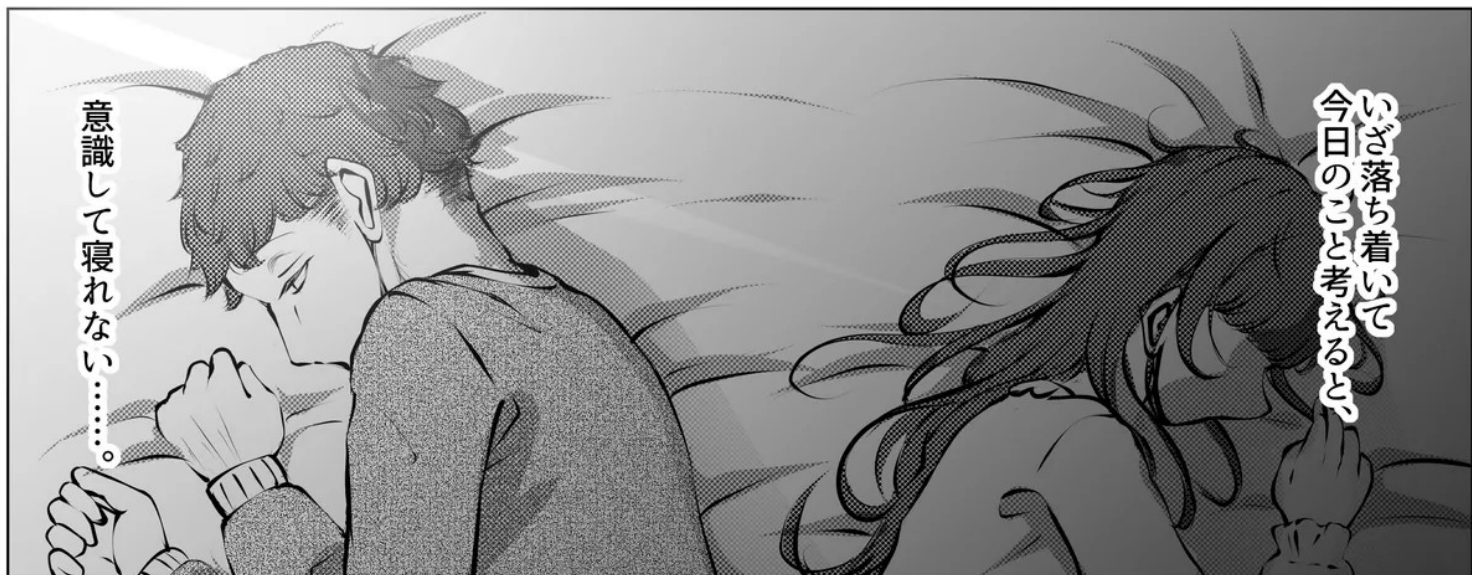
まあでも、本当に
出来ちゃったとしても――



大樹なら責任とつてくれるって
信じてるから♡



鬱手前の人間と
向き合ってる自覚あるか？



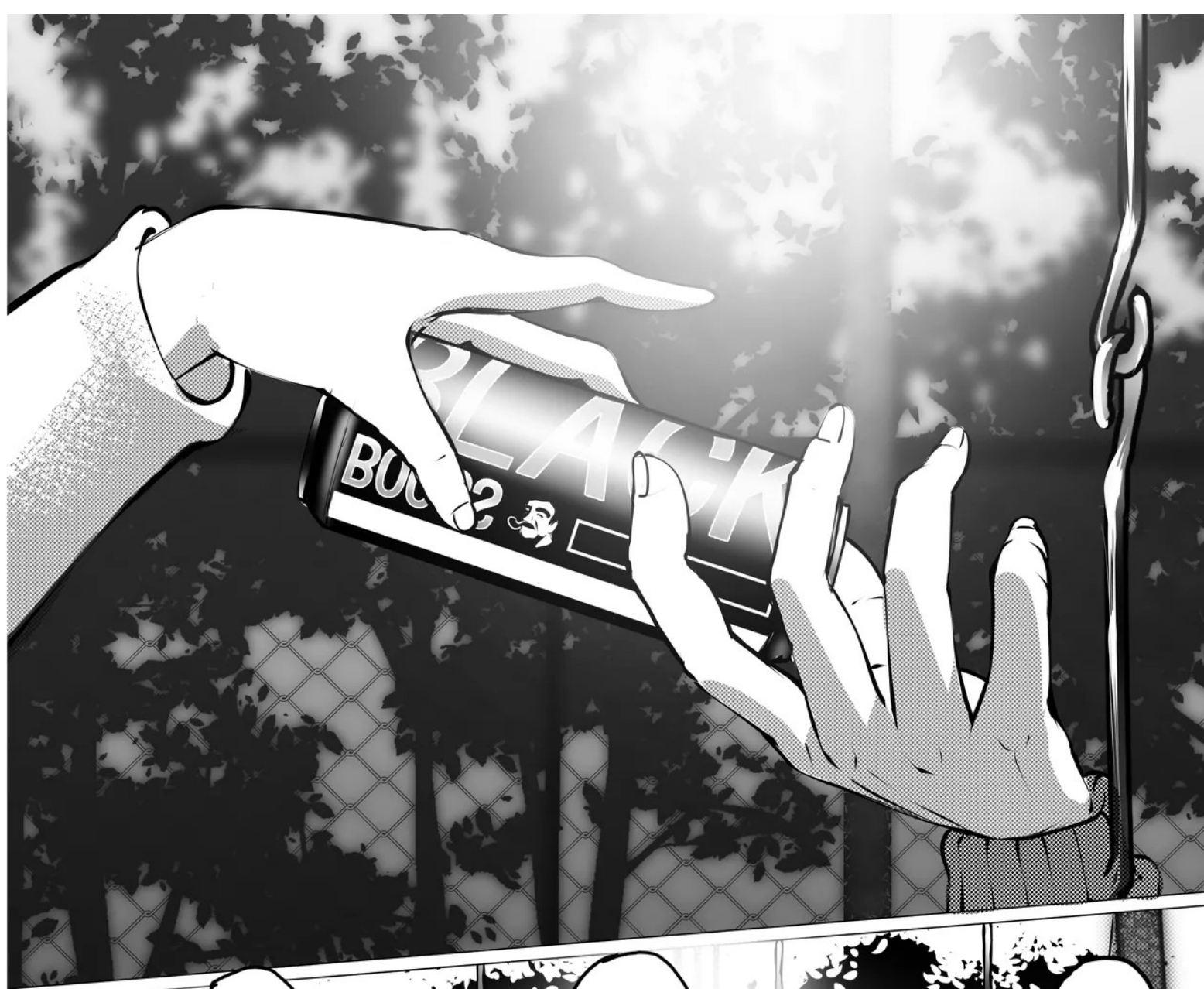
意識して寝れない……。

いざ落ち着いて
今日のこと考えると



もし起きてるならさ……。

——
大樹。



……ブラックかよ。

渋い顔するじゃん。

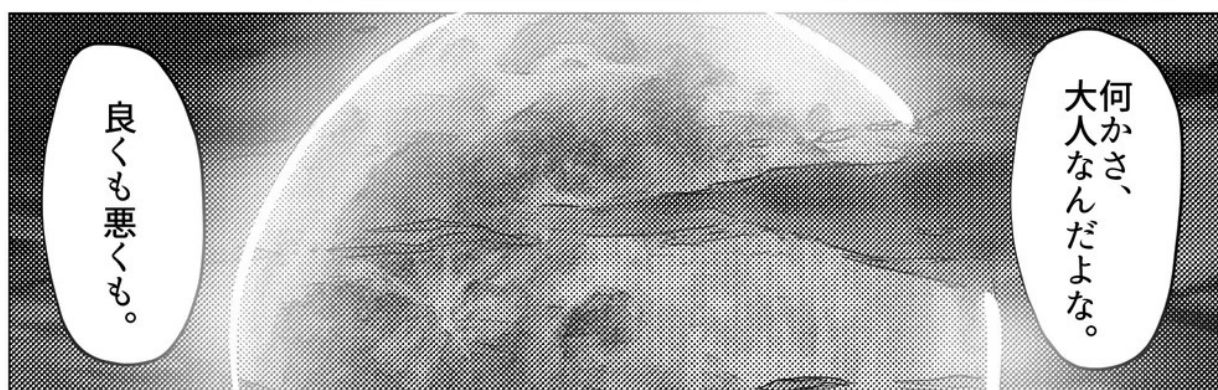
好み分かれそうなモノは
避けないか？
普通。

何も希望
言わなかったじゃん。

お茶とか考えるだろ、
普通。

折角買って来たんだから
文句言わない！





ここで夜空を見てるのって
変な気分だ。

ブランコも自転車方式なんだな。

もつと錆びてると
思ってた。

最近塗り直したのかな。
ちよつと分からないや。

そういやあの回るやつ
どこいったんだ？

撤去されたのかなあ。
危ないからって。

なーんか
息苦しい話だな。

ほんとね。

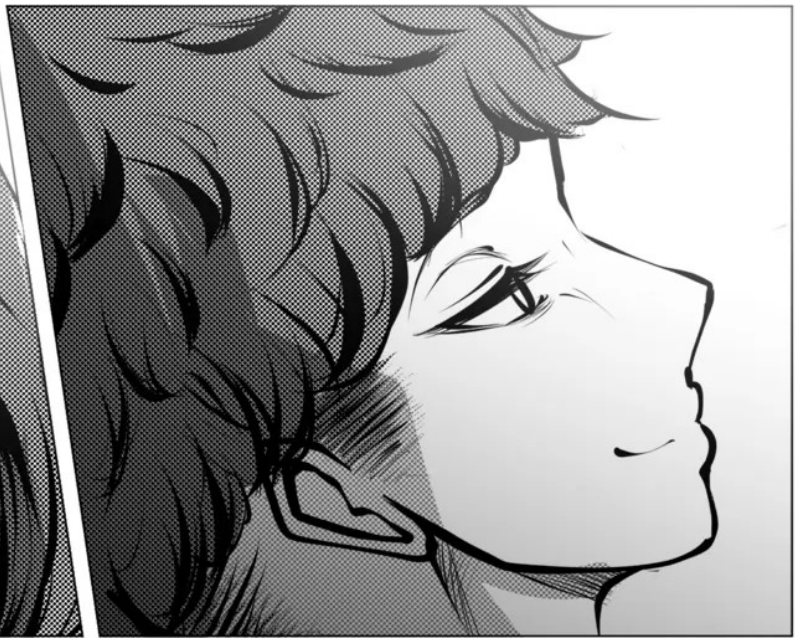
門限もあつたしね。

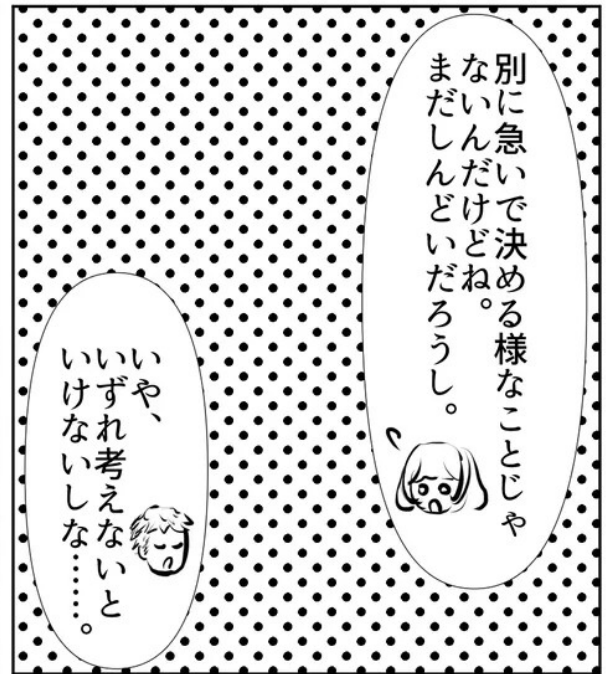
どういうこと？

何年も乗ってないのに漕げる。

確かに。







貯金をしたいなーって。

ちゃん……

ふわっとしてるね。

漠然とし過ぎてるなとは、俺も思うよ。

例えば都心に戻るのか。
割り切ったところで
働き口を探すのか。
あんまりイメージが湧かない。

I'm back
TOKYO

シャーン

バイトやパートを挟んで
少しづつ社会復帰するの
か。年齢もあるし、早め
に正規雇用を目指した方
が良いか。

どニコソ

キャリアを活かすのか。
別の職種に触れて裾野を
広げるのか。

荒波に揉まれた今、
改めて夢を追いつくのか。

……ちよつと、
まだ決まらないな。



ただ——

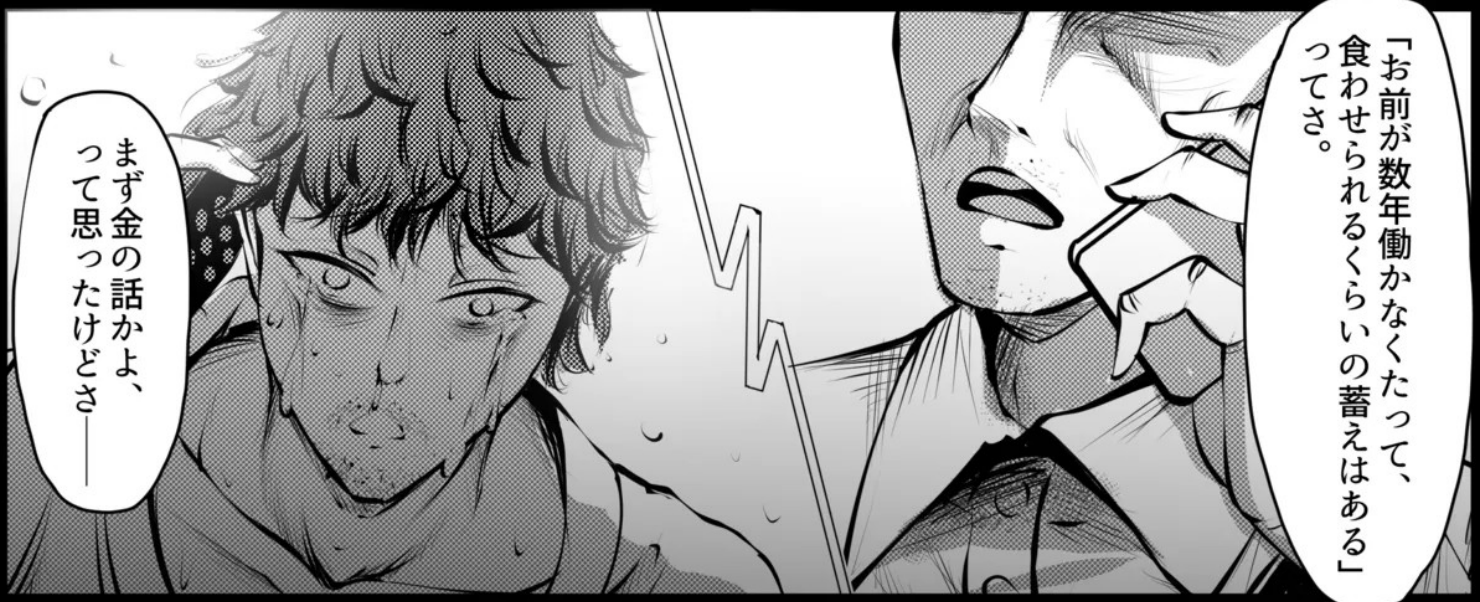


全然連絡してなかったし、
言いたいこと色々あったらうにな。



立ち行かなくなつて、
両親に助けを求めた時、

「しばらく休め」って
言ってくれたんだ。



「お前が数年働かなくなったって、
食わせられるくらいの蓄えはある」
ってさ。

まず金の話かよ、
って思ったけどさ――



――でも実際、安心した。
ああ、暫くは本当に良いんだ
……って。

だから――

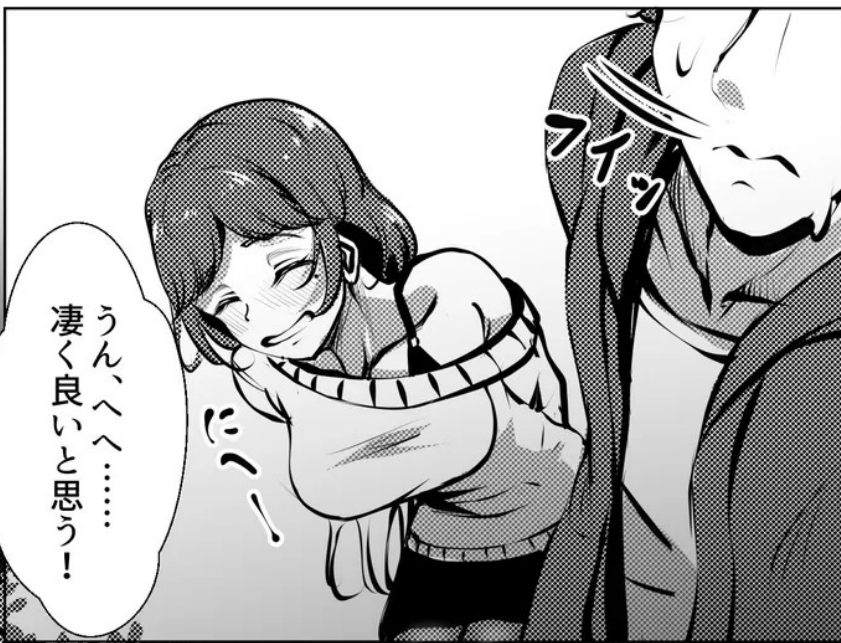


いつか身近な誰かが疲れ果てた時に、

地に足着いた言葉で
『休め』って言える様でいたい。



ふーん……。



うん、へへ……
凄く良いと思う！

そろそろ
お家もどろつか。

そうだなあ、満足した。

身体冷えてきたしね。

流星に今日は疲れたし。



夜も明けそうだし――





